



**BMW & MINI
Racing**

2026年7月12日

BMW & MINI Racing **Official Release.**

BMRブルテン – No,2026-06

特別競技規定「GRAN HEAT」について

本ブルテンは、「GRAN HEAT」特別競技規則書として「BMW & MINI Racing 2026 SPORTING & TECHNICAL REGULATIONS（以下、BMR.2026 競技規則書）」に補足する内容で定めたものであり、以下の条文に明確に記載されていない内容は、「BMR.2026競技規則」または、「BMR.2026競技規則 第1条 総則1.組織・規定1.2.」により定められる規則、規定によって開催される。

第1条 開催日「GRAN HEAT」

Round 4（第7戦／第8戦） 2026年7月18日（土）／19日（日）
スポーツランドSUGO（宮城県）

第2条 ドライバー登録

1. 参戦するエントリーは、1台のエントリー車両に対して、1名以上2名以内（A～B）のドライバーを指名し登録しなければならない。
2. 指名登録されたドライバーは、BMR委員会によりドライバー・クラスが認定され、ドライバー・クラスに応じた「ドライバー・ハンディ制」が実施される場合がある。
3. 参加申請時にドライバーが確定していない場合は、「TBN」として登録できる。
4. 「TBN」として登録したドライバーは、BMR.2026競技規則で定める登録変更期間でのドライバー登録申請により確定していなければならない、確定していない場合は取り消し扱いとする。

第3条 ピットクルー

ピットクルーは、チーム構成員より、18歳以上のものでチーム監督（競技責任者）を除いて3名（燃料補給要員を含む）までとする。なお、ピットクルーは、チーム構成員との識別のため腕章（指定色：黄色）を着用しなければならない。

第4条 公式予選

1. 公式予選は、「BMR.2026競技規則 第18条 公式予選 2.」により定められるグループ入れ替え制によって行われる。なお、本大会では決勝レース毎に公式予選が実施される。
2. 第1公式予選 (Q1) では、「A・Bドライバー」が出走してラップタイムの計測を受け、各ドライバーともに予選結果で達成された各クラスのベストタイムに120%を乗じた公式予選の通過基準タイム記録を達成しなければならない。
3. 第1公式予選 (Q1) における各エントラントのタイム・リザルトは、1名のドライバーのみで参戦する場合は、当該ドライバーが第1公式予選 (Q1) で記録したベストタイムとセカンドベストタイムを合算したタイムとし、2名のドライバーで参戦する場合は、Aドライバーが記録したベストタイムとBドライバーが記録したベストタイムを合算したタイムとする。この合算タイムの速い順に、各クラス上位3位までのエントラントが第2公式予選 (Q2) への出場資格を得る。
4. 第2公式予選 (Q2) に出場の際は、第1公式予選でチームのベストタイムを記録したドライバー以外のドライバーが走行しなければならない。但し、指名登録ドライバーが2名のエントラントに限る。
5. 第2公式予選 (Q2) に出場するエントラントは、第2公式予選 (Q2) で使用するタイヤを指定して、BMR委員会によるタイヤ・マーキングを受けなければならない。

第5条 スターティング・グリッド

1. 公式予選結果の順位により決定される。
2. 第1公式予選 (Q1) を通過できなかったエントラントの決勝スターティング・グリッドは、第1公式予選 (Q1) の合算タイムの順位により、各クラス4位以下として確定する。
3. 第2公式予選 (Q2) に出場したエントラントの決勝スターティング・グリッド (各クラス1位から3位) は、第2公式予選 (Q2) で各ドライバーが記録したベストタイムの速い順により決定する。
4. 2名の指名ドライバーを登録しているエントラントは、第7戦では「Aドライバー」、第8戦では「Bドライバー」を決勝レースのスタート・ドライバーと指定する。
5. 本大会「GRAN HEAT」では、BMR.2026競技規則 第20条2.に定めるリバース・グリッド方式は採用しない。決勝第8戦のスターティング・グリッドについても、当該レースの公式予選結果の順位により決定する。
6. 本大会「GRAN HEAT」では、BMR.2026競技規則 第5条1.5に定める公式予選と決勝第1レースのドライバーの同一性に関する規定は適用しない。

第6条 スタート手順

決勝レースのスタートは、スタンディング・スタート方式とする。但し、コースの状況などによりFIA国際競技規則付則H項の規定に従い、必要に応じてセーフティ・カー・スタート方式が採用される場合がある。

第7条 決勝レース形式

1. 決勝レースは、50分間に相当する周回数によって行われる。
2. 各カテゴリー・グループ総合の先頭車両が、50分経過後にコントロール・ラインを通過した時点より各車ゴールとする。
3. 決勝レース中は、決勝レース開始後15分を過ぎて35分までの20分間に全車にピット・エリア（作業エリア）でのピット・ストップが義務付けされる。
4. ピット・ストップの義務は、下記の要件に応じて所定の滞在時間の設定がされ、ピット・レーン速度制限開始地点からピット出口までの滞在時間で計測される。なお、ピット・ストップ義務の滞在時間が満たない場合は、実測値の1秒未満を切り捨てたうえで、所定の滞在時間に満たない分のペナルティ・ストップが課せられる。

① 1名のドライバーで参加の場合

- A) ドライバー・クラスが「ジェントルマン」の場合は、8分間とする。
- B) ドライバー・クラスが「エキスパート」の場合は、8分30秒間とする。
- C) ドライバー・クラスが「プラチナ」の場合は、9分間とする。

② 2名のドライバーで参加の場合

- A) ドライバー・クラスが「ジェントルマン」同士の場合は、8分間とする。
- B) ドライバー・クラスの上位者に「エキスパート」が含まれる場合は、8分30秒間とする。
- C) ドライバー・クラスの上位者に「プラチナ」が含まれる場合は、9分間とする。

5. 本大会「GRAN HEAT」では、決勝レース中のドライバー交代は義務付けられない。ドライバーを2名登録したエントラントであっても、当該レースのスタート・ドライバー（第7戦はAドライバー、第8戦はBドライバー）が、義務ピット・ストップを含めレース終了まで単独で走行することが認められる。
6. ドライバー交代を行う場合は、本条に定めるピット・ストップ義務の履行中に限り行うことができる。それ以外のタイミングでのドライバー交代は認められない。
7. セーフティカー導入中に実施されたピット・ストップは、本条に定めるピット・ストップ義務の履行とはみなされない。当該義務は、セーフティカー導入の有無にかかわらず、通常走行（グリーン・フラッグ）の状態下で改めて履行しなければならない。
8. 決勝レース中に赤旗が掲示され中断された場合、大会審査委員会の判断により、残り周回数および時間が決定される場合がある。

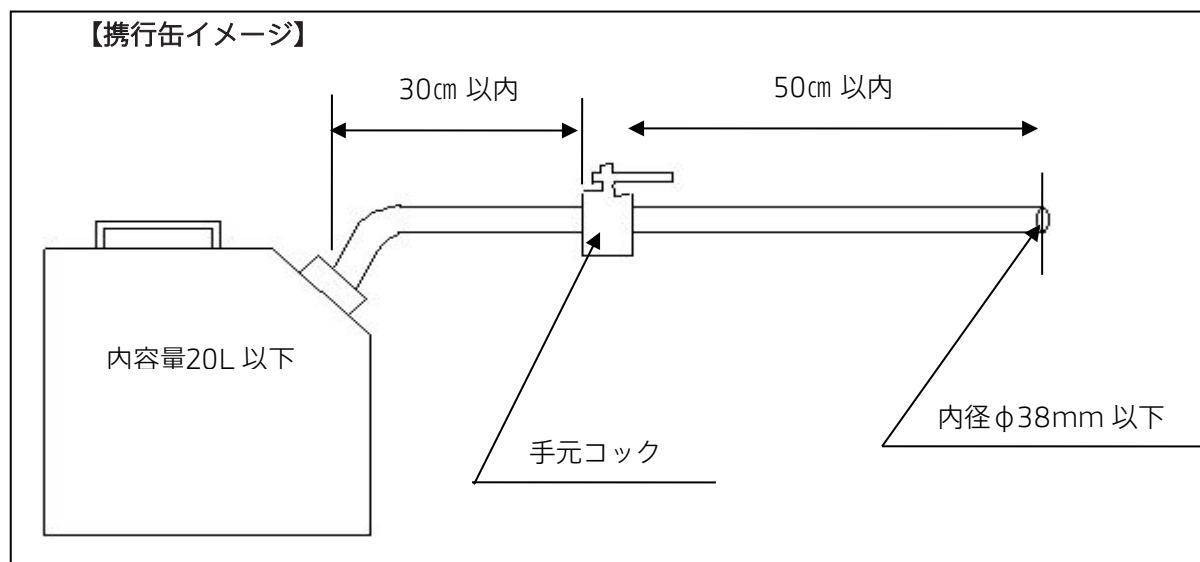
第8条 ピット作業

1. ピット・エリア（作業エリア）での停車はいかなる場合でもエンジンを停止させなければならない。なお、ジャッキアップ中、またはジャッキダウン途中にエンジンを始動させることは禁止される。
2. 公式セッション中にピット・ボックス前端に記されるラインよりもピット・レーン側のエリアに立ち入れるのは、正規に指名登録されたチーム構成（TEAMパス着用）のみに限られる。
3. 競技車両がピットインした際に当該車両のピットクルー（最大3名：腕章着用）は自己に指定されたピット・エリア（作業エリア）に出て作業することができる。なお、ピット作業の場合を除いてピット・エリア（作業エリア）に出ること、部品および工具を置くことは禁止される。

4. ピット作業中、当該車両のドライバーが車両を離れ、ピット・エリア（作業エリア）に出て作業補助をすることは認められる。
5. ピット作業が長引く場合は、ピット・ボックスに車両を入れて作業をすること。なお、ピット・ボックスから車両を出し入れする際はエンジンを停止させてピットクルーによる手押しで行わなければならない。
6. ドライバー交代を行った場合は、トランスポンダーの交換（ドライバー切り替え）を確実に行わなければならない。

第9条 給油作業

1. 決勝レース中の車両への燃料補給は、下記の要件に適合する燃料補給装置によりピット・ボックス内で行わなければならない。なお、1回のピットインにおける燃料補給は20リットル以下とする。
 - A) 容量が20リットル以下の耐圧性の携行缶を使用すること。
 - B) 携行缶が、車両給油口まで内径38mm（1.5インチ）以下の耐油性ホースを接続できる構造となっていること。
 - C) バルブ径38mm（1.5インチ）以下でバルブ開閉90° 以内の角度で操作できる手元コックが携行缶から30cm以内の位置に設置されていること。
 - D) 手元コックから車両の給油口までのホース内部が目視でき、長さが50cm以内であること。



2. 燃料補給は、登録された燃料補給要員により行い、少なくとも1名のピットクルーもしくは当該車両ドライバーが消火要員として消火器（二酸化炭素消火器を推奨）をもって燃料補給作業が完了するまで待機しなければならない。
3. 燃料補給はピット・ボックス内で競技車両のエンジンが停止し、アースが取り付けられた状態のみ行うことができる。なお、給油装置が給油口に向かいボディラインから隠れた状態を給油開始とみなし、給油装置が給油口から外れ、ボディラインから出た状態を給油終了とみなす。
4. 燃料補給作業時は、車両の4輪すべてが走行可能な状態で装着された状態で行わなければならない。ジャッキアップ中は禁止される。
5. 燃料補給中の作業は、以下の作業を除き全て禁止とする。なお、認められる作業は、ドライバーとピットクルーが行なわなければならない。
 - ① トランスポンダーの交換
 - ② 窓ふき、およびガラス用の保護フィルムを剥がす作業

6. 燃料補給要員および消火要員は、登録されたピットクルー（当該車両ドライバー可）で全身に渡り耐火被服（JAF/FIA公認を強く推奨）を着用し、頭部の火災防護のため、バラクラバとバイザーにより目が外部と離されるフルフェイス型ヘルメットを着用していなければならない。
7. 給油作業時は、燃料の飛散・滴下によるタイヤの損傷、ならびに引火のリスクを低減するため、給油口に隣接するタイヤに難燃性の保護カバー（耐熱シート等）を装着しなければならない。当該保護カバーは、給油開始前に装着し、給油終了後、タイヤ交換等の後続作業に支障がないことを確認したうえで取り外すこと。

第10条 B.o.P（バランス・オブ・パフォーマンス）

1. 本大会「GRAN HEAT」では、BMR.2026競技規則 第12条2.（ドライバー・ハンディ制）および同条3.（サクセス・ハンディ制）〔※M2 CS Racing Series〕に定める性能調整（車両ハンディおよびドライバーハンディ）を、本大会に限りすべて撤回し適用しない。なお、第12条1.（パワー・スティックの使用）に定めるB.o.Pは、通常通り実施される。

第11条 車両重量

1. 大会期間中を通じて、ドライバーおよびその装備品を除いた車両重量（燃料、潤滑油、冷却水などの液体および競技中に使用するカメラを含む）は、下記の重量を下回ってはならない。
 - M2 Racing ; 1,535kg
 - M2 CS Racing ; 1,545kg
 - MINI JCW ; 1,120kg
 - MINI CPS ; 1,255kg
2. 本大会に限り、BMR.2026競技規則および各車両技術規定に定める「ドライバー込み車両重量」規定を、前項に定める「ドライバー無し車両重量」規定に読み替えるものとする。

第12条 タイヤ使用規定

1. 大会期間中の公式予選から決勝レース終了まで、新品、または使用済みドライ・タイヤの最大使用本数を下記のとおり定める。なお、これらのタイヤは、公式車両検査にて、車検員によってマーキングを施されていなければならない。
 - M2 CS Racingクラス ; 12本
 - JCWクラス ; 8本
 - CPSクラス ; 6本
2. 第2公式予選（Q2）に出場したエントラントに限り、第2公式予選（Q2）で使用し、タイヤ・マーキングを受けたタイヤを決勝レースのスタート・タイヤとしなければならない。

第13条 ポイント・スコアリング

1. 本大会では順位に関係なく、完走したドライバーに一律で30Pのボーナス・ポイントが付与される。
2. シーズン・ポイントは、BMR.2026競技規則 第25条で定めた規定で付与される。
3. ドライバー・ポイントは、決勝レース結果（リザルト）に記録された各ドライバーに、それぞれ付与される。
4. 本大会「GRAN HEAT」では、BMR.2026競技規則 第25条3.1に定める「チーム・ポイントは決勝ポイントのみを対象とする」規定にかかわらず、予選ポイントについてもチーム・ポイントに反映するものとする。
5. チーム・ポイントの算出方法は、1名のドライバーのみが参戦した場合は当該ドライバーが獲得したポイントをそのまま採用し、2名のドライバーが参戦した場合は、両ドライバーが獲得したポイントを合算し2で除した数値を採用する。この算出方法は、予選ポイントおよび決勝ポイントの双方に適用される。

BMW & MINI Racing 委員会 [運営組織：ジオミックモータースポーツ株式会社]

連絡先：052-684-5556 ／ Mail：info@bmwminiracing.jp